



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.69

平成 27 年（2015 年）2 月 4 日発行

### ■立春（りっしゅん） 2 月 4 日から 2 月 18 日までの節気

立春、暦の上では春の始まりの日。春告鳥と呼ばれるウグイスが「ケキョケキョ」と鳴く練習を始めます。上手に鳴けるようになるのは 3 月ごろでしょうか？ まだまだ寒さが続く中、梅の花も固いつぼみを開き始め、春の香りがほんのり漂うころです。

立春とはいえ、まだまだ厳しい寒さは続きますが、立春になると何とはなしに、これまでの寒さの中にも春の訪れを感じ、陽も一日一日と長くなるのを実感します。やはり気分もウキウキしてきます。

今年は都内からも富士山が見られる日が多いそうです。自宅の最寄り駅のホームからも街並みの上に 6～7 合目からの富士山が見られます。朝、富士山が見えると、なぜか得した気がします。不思議な気もしますがとても魅力のある山です。

今年の 1 月 25 日（日）、2012 年の 2 月からスタート、丸三年かけた「東京二十四節気ウォーク（NPO PTPL 企画協力）」が終了しました。このウォークは計 24 回開催し、述べ 7,500 人近い方々が参加されました。毎回、その節気にふさわしいテーマを設定しました。ちょうど 3 年前の第 1 回のテーマは「梅」、コースには「梅」の名所も入れていたのですが相手が自然ですので開催当日はお目当ての「梅」が咲いていないなど、今は楽しい思い出です。

このウォークを通して感じたことは、東京には二十四節気という季節を目で見て楽しめ、季節を肌で感じられる場所が多いことでした。皆さんも自宅周辺を散歩するとき、二十四節気をテーマに散歩してみると季節のうつろいが感じられると思います。いかがですか。

映像「二十四節気 日本」(<http://www.tomoiki.tv/24/nippon/>) をご覧ください

さい。この映像には「古典・近代短歌」「書き下ろし短歌」があり映像とともに  
お楽しみいただけます。

私は、最近「落語」を暇があれば聞いています。特に、志ん生・枝雀・談志  
など、いまは亡き故人を好んで聞いていますが同じ演目でも東京と大阪では表  
現の違い、まくらの違いなど聞いていて飽きません。まくらには意外と季節の  
話があることにも気づきました。

インターネット上でいろいろな落語家の話がアップしていますので、いつで  
も気軽に聞くことができます。いまの芸人にはない高座で醸し出される艶や粹  
な言葉などなど、改めて「日本語」というものは奥が深いものと感じています。

いま、「ジャパネスク運動」の本格的なスタートに向け最終準備中です。  
ぜひ、「ジャパネスク」公式サイト (<http://japanesque.tokyo/>) フェイスブ  
ック「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」  
(<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo>) をご覧ください。そしてご意  
見、ご感想をお寄せください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

## ■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼は

### 恵方巻き、節分?

立春の前日、節分の日恵方巻きを食べて、一年の福德を祈るという行事がい  
ま、大流行り。昨年 10 月 31 日のハロウィーンを思い起こします。

恵方とは古くは正月の神の来臨する方角、のちに、その歳徳神（としとくじん・  
その年の福德をつかさどる神。この神の在る方角を明の方（あきのかた）また  
は恵方といいます。）の在る方角を意味するようになりました。

恵方巻きは、その年の恵方に向かってこの太巻きを無言で食べ、一年の福德を  
祈る行事です。

ということは、この行事は節分の日ではなく、旧元日、今年でいえば立春に一  
番近い朔の日（新月）、2 月 19 日（木）に行われる行事ではないかとフト考え  
てしまいました。

皆さんはどうお考えになりますか。ご意見をお聞かせください。

どうして「節分の日に恵方巻き」ということになったのか、謂れを知りたいものですね。旧暦では、まだ新年を迎えていない節分の日に去年の歳徳神に祈るのでしょうか。よくわかりません。

(以前は、よく正月に恵方参りをする人を見かけました。その年の恵方の方角の神社仏閣へお参りに出かけ一年の福德を祈りました。最近は少なくなっているようです。)

## ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

- 先号も銭湯の話をお伝えしましたが先日、ある若者と銭湯であった話をお伝えします。湯船から上がって身体を拭いていて、ふと若者を見ると「ふんどし」を締めているところで、「六尺ふんどし」でした。昔「ふんどし」というと白か赤と思っていたのですが、草木染のような落ちつた緑色のものでした。興味があつて、なぜ、「ふんどし」を締めているの?と、尋ねてみるとプレゼントでいただき、実際に締めていると締め付け感もなく、もう手放せないということでした。さっそく、家に帰ってサイトで調べてみるといろいろな「ふんどし」があり、色も多数、さらには女性用もあるようです。今度の週末には「ふんどし」探しをしてみようと思っています。

- 「ともいきぐらし」<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>  
「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」<https://www.facebook.com/oragafuji>  
をご覧ください。そして、各フェイスブックの読んでいただいたコメントをお寄せください。お待ちしております。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp